日本語の雑談におけるナラティブの認定基準に関する一考察

夏　雨佳（東京外国語大学大学院生）

1. はじめに

我々は自分の経験をナラティブとして語り，他人に伝えることがよくある．ナラティブは通常の雑談と区別され，一定の構造を持ち，まとまりのあるものだと考えられている(Labov 1972 等)．そして，ナラティブを語る行為は日常的な雑談の中で行われることが多いため，雑談の中に現れるナラティブに注目する研究も多い(Tannen 1984 等)．しかし，これまでの雑談中のナラティブを扱う研究では，研究者によって異なる定義や認定基準が立てられており，まだ統一されていないと言える．そこで，本研究では，先行研究で述べられている雑談におけるナラティブの定義，認定基準を整理し，会話コーパスに現れるナラティブの特徴と照合することで，ナラティブの認定基準を確立させることを目的とする．

2. 先行研究におけるナラティブの定義と認定基準

これまでの先行研究におけるナラティブの定義は，先駆的研究である Labov(1972)に倣うものが多い．Labov(1972)は，インタビューに現れるナラティブについて「言語による節の連鎖と実際に起こった出来事の連鎖を整合して過去の経験を要約して話す 1 つの方法」(pp.359-360 筆者訳)と定義し，最小単位のナラティブは時間的順序のある 2 つの物語節と 1 つの時間的接合点(接続表現)から成るという認定基準を打ち出している．そして，Labov(1972)で扱っているインタビューで引き出されたナラティブは，まとまりのある構造を持ち，独話の特徴が見られる．それに対して，雑談の中に現れるナラティブは，語り手と聞き手の相互行為に着目する研究が多く行われてきた（Tannen 1984，Maynard 1989，李 2000，赵 2015[1]等）．これらの研究におけるナラティブの定義と認定基準も，Labov(1972)の定義を参考にしているが，雑談に現れるナラティブの特徴を加味していると言える．

表 1 は，上記の Labov(1972)，Tannen(1984)，Maynard(1989)，李(2000)，赵(2015)に挙げられているナラティブの定義・認定基準・内容をまとめたものである．ここから分かるように，これらの研究に挙げられている項目は多少異なり，ナラティブを認定するための基準が十分に統一されているとは言えない．また，この 4 つの先行研究以外は，ナラティブを認定する基準や過程が明確にされていない研究も多い．そのため，本研究では，雑談に現れるナラティブを認定するために必須となる基準をまとめ直し，会話コーパスにおける実際の雑談データをもとに検証することとする．

表 1 先行研究におけるナラティブの定義・認定基準

先行研究	ナラティブの定義	ナラティブの特徴（認定基準）
Labov (1972)	言語による節の連鎖と実際に起こった出来事の連鎖を整合して過去の経験を要約して話す(recapitulate)1 つの方法．(pp.359-360　筆者訳)	ナラティブには時間的順序のある「物語節(narrative clause)」と順番が変わってもナラティブの内容に影響がない「自由節(free clause)」があり，2 つの「物語節」の間には「時間的な接合点(temporal juncture)」，つまり「and」のような接続表現が存在するとしている．最小のナラティブ(minimal narrative)の認定基準としては，「物語節」が 2 つあり，「時間的な接合点」を一つ含むものである．なお，何回も起こった過去の一般的な出来事(general events)はナラティブとして認定できない．(筆者訳)
Tannen (1984:2005)	過去の出来事を語る話．(p.99 筆者訳)	雑誌で読んだ記事の要約，または，ピクターサインを紹介する等の内容はナラティブと似ているが，出来事ではないため，ナラティブとして認定できない．(筆者訳)
Maynard (1989)	日常会話の中で何気なく語られる物語(聞き手を楽しませるために予め準備しておいた語りでもなく，語りを誘発する指示に反応して語られるものでもない)．(p.98 筆者訳)	(1) カジュアルな語りは，カジュアルな会話の中で自然に発生する． しかも，ナラティブを語らせる明確な要求はない． (2) 語り部のターンが長くなるため，語ろうとする者は前置き表現で合図をしたり，許可を求めたりする． (3) 物語の主要部分は，少なくとも 1 つの出来事に言及し， 時系列に並んだ最低でも 2 つの行動で表現される必要がある． (4) この物語パートは，今ここにある会話の世界とは別の概念的な世界を作り出し， 参加者の視点を変化させる． (5) ナラティブセグメントは発話行為を行うもので，語用論的に機能する． それぞれの語りの具体的な機能は，会話そのものが提供する文脈によって定義される． (6) 語り手は，対話モードとは別に，物語を語る，あるいは報告するモードを想定している．(筆者訳)
李 (2000)	過去に発生した出来事を雑談の中で報告すること．(p.8)	最小単位の物語を「時間的な連結点(temporal juncture)」が 1 回，つまり「物語節（narrative clause）」が 2 つ観察されるものである．ただし，「物語節（narrative clause）」が言語使用によってはっきり表面化されていないこともある．出来事には，自分の経験したこと，他人から聞いたこと，テレビで見たこと等，様々なことがある．一方，過去の恒常的な状態の陳述だけでは，物語にはならない．

[1] 赵(2015)は中国語のナラティブ研究であるが，Labov や Tannen 等の先行研究を踏まえてナラティブの認定基準を整理しているため，参考にした．

赵 (2015)	日常会話に自然に発生する，会話参加者により協働構築するものであり，経験したり，考え直したりする効果のある物語を語る行為である． (p.5　筆者訳)	(1) 会話に現れるナラティブ節（短い文） 「昨日図書館で前の同級生と出会って，嬉しかった．」のような時間的順序または因果関係のある（2つの事件を述べている）2 つの短い文の組み合わせはナラティブになる．しかし，「昨日図書館で前の同級生と出会った時は嬉しかった」というような文は，従属節となり，一つの事件しか説明していないため，ナラティブとして認定しにくい． (2) 現時点の会話から過去または将来に関するナラティブの時点への転換を表す指示詞，接続表現 「昨日，一昨日，その日になったら，～～のときになったら」，「そして，そのあと，終わったあと」 (3) 動作の完了を表す助詞「了(~した)，过(～したことがある)」， 将来の仮定を表す表現「就(~たら)，就要（もうすぐ）」． (4) ナラティブを導入する際の言語表現 特に雑談からナラティブに転換する際に，次の表現は出現頻度が高い 「知ってる？，話したことある？，言いたいことあるけど，思いついたのは等」．(筆者訳)

3. ナラティブの認定基準の項目の分析

まず，先行研究（Tannen 1984，Maynard 1989，李 2000，赵 2015）に挙げられているナラティブの認定基準を整理し直した結果，表 2 のとおり，5 つの認定基準の項目にまとめることができた．

表 2　ナラティブの認定基準の項目とそれを挙げている先行研究

ナラティブの認定項目	先行研究
①少なくとも 1 つ以上の出来事[2]について説明している	Labov(1972)，Maynard (1989)，李(2000),赵(2015)
②時間的順序のある 2 つの節(行動)，及び時間的順序または因果関係を表す接続表現がある	Labov(1972)，Maynard (1989)，李(2000),赵(2015)
③現時点の会話からナラティブの時点への転換を表す表現がある (例：過去形，「あの時」，「昨日」，「～時になったら」等)	Labov(1972)，Maynard (1989)，李(2000),赵(2015)
④語りの前置き表現がある (例：「話したことある？」，「昨日は大変だったよ」，「なんで遅刻したかっていうと」等)	Maynard (1989) ,赵(2015)
⑤ナラティブの登場人物の発話を引用する表現がある	Maynard (1989)

これをもとに，BTSJ 日本語自然会話コーパス(宇佐美編 2022)における日本語母語場面の女性友人同士の 3 つの雑談 A，B，C[3](全 61 分 6 秒)を対象にして分析を行った．分析手順としては，まず，表 2 の認定項目①～⑤に部分的にでも関連するものを全て抽出した(計 58 個)．その後，抽出した各ナラティブが認定項目①～⑤のどれに当てはまるか分類した．

表 3-1 は，雑談 A, B, C に現れたナラティブがそれぞれ認定項目①～⑤のどれを満たしたかを数えた合計数をまとめたものである．これを見ると，3 つの雑談におけるナラティブで，項目①～③を満たしたものが項目④，⑤を満たしたものより明らかに多いことが分かった（認定項目の合計：①53，②46，③51，④28，⑤33）．そのため，本研究では①～⑤までの全ての項目に当てはまったものと，①～③までの項目に当てはまったものをナラティブと認定し，①～③までのいずれかの項目にしか当てはまらなかったものを，「セミナラティブ」と呼ぶこととする．

この基準をもとに集計した結果，表 3-2 のように，ナラティブとして認定できたものが 40 個，セミナラティブとして認定できたものが 18 個，合計 58 個見られた．なお，雑談 A, B, C でナラティブとして認定したものの中で，項目①～⑤を全て満たしたものの数を，表 3-1 の括弧内の数字で示している．

表 3-1　3 つの雑談におけるナラティブで 5 つの認定基準の項目を満たしたものの数

会話	認定項目① 出来事についての説明	認定項目② 2 つの節と接続表現	認定項目③ 時点の転換を表す表現	認定項目④ 前置き表現	認定項目⑤ 登場人物の発話の引用
雑談 A　(329-23-JF181-JF182)	25 (17)	19 (17)	24 (17)	14 (11)	14(11)
雑談 B　(331-23-JF184-JF185)	19 (14)	16(14)	17 (14)	8 (8)	11(10)
雑談 C　(333-23-JF187-JF188)	9 (9)	11 (9)	10 (9)	6 (5)	8(7)
合計	53(40)	46(40)	51(40)	28(24)	33(28)

表 3-2　3 つの雑談におけるナラティブおよびセミナラティブと認定できたものの数

会話	ナラティブ	セミナラティブ	合計
雑談 A　(329-23-JF181-JF182)	17	10	27
雑談 B　(331-23-JF184-JF185)	14	6	20
雑談 C　(333-23-JF187-JF188)	9	2	11
合計	40	18	58

これを見ると，ナラティブとして認定できた 40 個の中で，「④語りの前置き表現がある」ものが 24 個見られ(表中網掛け部)，「⑤ナラティブの登場人物の発話を引用する表現がある」ものが 28 個見られた(表中網掛け部)．これらの 2 項目は，全 40 個のナラティブの半数以上に見られたが，全てのナラティブに見られたわけではなかった．つまり，項目④はナラ

[2] 本研究では，出来事の部分を抽出認定するために，出来事を「社会や身のまわりに起こる事柄．また，ふいに起こった事件・事故．」と定義する．(デジタル大辞泉: https://www.weblio.jp/content/%E5%87%BA%E6%9D%A5%E4%BA%8B)

[3] BTSJ(2022)における 3 つの雑談の会話グループ番号は 23 で，会話通し番号は 329,331,333 である．

ティブの先行話題との関連性の強さによって前置き表現を用いる必要性が変わり，項目⑤はナラティブの内容の詳細さによって登場人物の発話の引用の必要性が変わり，適宜，省略される場合もあることが分かった．以下，雑談 A, B, C に見られたナラティブ，セミナラティブの会話例からその特徴を見る．

3.1. ナラティブとして認定できたものの会話例

まず，ナラティブとして認定できたものの例を 2 つ紹介する．会話例中で重要な部分には太字＋網掛けを付し，会話例の右端に当てはまる項目番号を示した．

会話例 1 は，①～⑤の項目が全て揃ったナラティブの例である．このナラティブでは，JF182 が発話 395 で，ポル旅行に行った際にコミュニケーションにジレンマを感じたという，経験した出来事(項目①)を語っている．この発話の中には，まず「ポル旅行に行ったとき，うまくコミュニケーション取れなかった」という語りのテーマを発表するという前置き表現(項目④)が見られる．そして，発話 404-406 では，「日本に帰ってきて，頑張って勉強しても，結局プレゼンテーションは優取れなかった」という話の続きを語っている．そして，語る際の言語表現を見ると，「て」という接続表現と「結局」という出来事の展開を表す言葉が見られる．また，これらの言語表現の前後にある「話聞き取れない」，「聞き取れてもうまく返せない」，「超もうジレンマだった」という節も因果関係と時間的順序(項目②)が見られる．さらに，雑談の部分と視点の変化を表す「過去形」(項目③)もナラティブ全体に見られる．なお，ナラティブの登場人物の発話を引用する表現(項目⑤)も，語り手の JF182 の発話 399 と聞き手の JF181 の発話 400 で見られる．このように，会話例 1 は 5 つの認定基準の項目が全て揃っており，ナラティブの 1 つの典型例となると言える．

会話例 1：①～⑤の項目が全て揃ったナラティブの例：雑談 A:「ポル語のコミュニケーションと勉強」

395	JF182	**あたしポル旅行行った時ー**、一生懸命話しかけるけどー(うん)返してくれた言葉が話聞き取れなく**てー**(うん)、なんか、**結局**聞き取れもしないし聞き取れても上手く返せないし**でー**、超もうジレンマ**だった**んだよね。	①②③④
396	JF181	一回だけ??、キャッチボール。	
397	JF182	そうそうそうそうそう。	
398	JF181	投げっぱなしで。	
399	JF182	<で“**あーごめん英語ー**”みたいな>{<}。	⑤
400	JF181	<“**あー投げてこないでー**”>{>}。	⑤
401	JF182	そうそうそうそう。	
402	JF181	変化球みたいな<2 人で笑い>。	
403	JF182	そう全然ダメだったんだよねー。	
404	JF182	であれで帰ってき**てー**、ちょっとこう、なんだっけ“あーちょっと勉強しなきゃなー”、と思ってー。	①②⑤
405	JF182	《少し間》“勉強したいなー”と思ってポル語がんばっ、ったんだけどー《少し間》、結局ー、「個人名 10」先生の、**プレゼンテーションは、優取れなかった(**《笑い》)。	①②③
406	JF182	超ショックだった。	

そして，会話例 2 は，①～③の項目が揃ったナラティブの例である．このナラティブにおいて，JF187 が発話 358 で，親に装飾紋様について聞いたら，話題が変えられたという出来事(項目①)について語っている．そして，語りの詳細を見ると，「親に装飾紋様について聞く」と「話題が変えられちゃった」という 2 つの節があり，「たら」という時間的順序を表す接続表現も見られる(項目②)．また，発話 358 と 364 では，雑談の部分と視点の変化を表す過去形(項目③)が見られる．つまり，この会話例では，語りの前置き表現(項目④)，および，ナラティブの登場人物の発話を引用する表現(項目⑤)が見られないが，必須項目としての①～③を全て満たしているため，ナラティブとして認定できた．

会話例 2：①～③の項目が揃ってナラティブとして認定できたもの：雑談 C:「親に装飾紋様について聞いたら，話題が変えられた」

358	JF187	でも昨日の夜親にちょっと(うん)、そっか装飾紋様について**聞いたら**、すぐなんか(うん)、**話題が変えられちゃったんだよね**、なんかすごく。	①②③
359	JF188	<笑い>そうなの?。	
360	JF187	うん。	
361	JF188	興味がないのかな<お母さんは>{<}。	
362	JF187	<ねっ>{>}。	
363	JF188	そっかー。	
364	JF187	**ちょっと淋しかったな。**	③
365	JF188	《沈黙 2 秒》ふーん。	

3.2. セミナラティブとして認定できたものの会話例

次に，「セミナラティブ」の 3 つの例を紹介する．まず会話例 3 は項目①しか満たさない「セミナラティブ」の会話例である．JF184 は「毎週鍋やってる」という，何回も起こった過去の一般的な出来事(Labov 1972)について話しており，出来事について説明しているが(項目①)，行動を表す 2 つの節(項目②)と，ナラティブの時点を表す表現(項目③)が見られないため，ナラティブとしては不完全であると考えられる．

会話例３：項目①「出来事」しか満たさない「セミナラティブ」：雑談 B:「毎週鍋をやっている」

100	JF184	《沈黙３秒》でさー、毎週鍋やってる、来週も鍋なんだよね。	①
101	JF185	<笑い>いいね。	
102	JF184	別にそこまでやってもみたいな。	

そして，会話例４は項目②しか満たさない「セミナラティブ」である．この会話例では，JF188 がこれから行うアンケート調査の状況予想について話している．そして，答えてくれない人もいることを想定し，その対処方法を考えている．発話 407 では，対処方法の一例を挙げている．407 は，「例えば」から始まり，「書いてもらって」，「チェックして」，「ここ抜けてますって」というやり方の順番についての説明があり，時間的順序のある３つの行動に関する節，および，接続表現が見られる(項目②)．また，「ここ抜けてますって」というその場での言葉の引用表現(項目⑤)も見られる．しかし，この発話で話している内容は，アンケート調査を実施する際のやり方に関する内容であり，出来事(項目①)であると言いがたい．なお，現時点の会話からナラティブの時点への転換を表す表現(項目③)も見られないため，典型的なナラティブであるとは言えない．

会話例４：項目②しか満たさない「セミナラティブ」：雑談 C:「答えたくない人への対処方法」

404	JF188	そんなこと聞かないでくれって人も<いると思う>{<}。	
405	JF187	<うん>{>}、悲しげに言われたらなー、余計悲しい(うん)、こっちが。	
406	JF188	でもちょっと淡々とね進めていかないと。	
407	JF188	《沈黙２秒》数もいるけどさー、例えば、同じシートでも、やだから答えないとかあると困るから、一回、書いてもらって、チェックして、“ここ抜けてます”って。	②⑤
408	JF187	そこまですんだ。	

また，会話例５は項目③しか満たさない「セミナラティブ」である．JF184 の発話 174 では，前に食べたトウチャ飯を紹介し，それが美味しかったという話をしている．この発話では，「めっちゃおいしかった」という過去形(項目③)が見られるが，「トウチャ飯」を食べる際の行動に関する節と接続表現(項目②)は見られないため，出来事(項目①)について語っているとは言えない．なお，発話 184 では「飲み会の後に，食べたらおいしい」という従属節が見られるが，これは「トウチャ飯」を食べる一般的な場面を挙げているため，ナラティブの一部とは言えないと考えられる．

会話例５：項目③しか満たさない「セミナラティブ」：雑談 B:「トウチャ飯」

174	JF184	おいしかったよーなんかねー、名物で一豆腐の一煮込んだのー、ご飯の上に乗せて一食べるのとか、もうめっちゃおいしかった。	③
175	JF185	豆腐の、おでんなの?。	
176	JF184	おでんの豆腐かな、あれは。	
177	JF184	なんだろうねーなんか、トウチャ飯言うてねー。	
178	JF185	おいしそー。	
179	JF184	おいしかったー、めちゃめちゃおいしかった。	
180	JF185	<お腹すいたよー>{<}。	
181	JF184	<多分ねー飲み会の後に>{>}飲んだら=。	
(中略:忘れ物に関する挿入話題)			
184	JF184	あのー、飲み会の後にー、あのー飲んだ後に食べたら<おいしいって感じのやつ>{<}。	
185	JF185	<あーいいねー>{>}。	

4. 結論と今後の課題

以上から，先行研究におけるナラティブの定義と認定基準を整理し，BTSJ の３つの母語場面の雑談データを用いて分析した結果，雑談におけるナラティブの認定基準として，項目①「少なくとも１つ以上の出来事について説明している」，項目②「時間的順序のある２つの節(行動)，及び時間的順序または因果関係を表す接続表現がある」，項目③「現時点の会話からナラティブの時点への転換を表す表現がある」，という３つの必須項目を明らかにした．これにより，今後の雑談におけるナラティブの分析に活かせると考える．ただし，雑談に現れるナラティブは，前後にある話題と強く関連しているため，今後ナラティブを分析する際は，話題との関連性を見ることも重要だと考えられる．なお，本研究では，何かの実施方法といった将来の計画について話す内容等は，セミナラティブとして認定したが，ナラティブをより広義にとらえる研究においてはナラティブとして分析対象とされている．それらの扱い方の検討は，今後の課題とする．

参考文献

李麗燕 (2000)日本語母語話者の雑談における「物語」の研究―会話管理の観点から― くろしお出版
Labov, W. (1972). The transformation of experience in narrative syntax. *Language in the inner city.* University of Pennsylvania Press.
Maynard. Senko K. (1989). Japanese conversation: Self-contextualization through structure and inter-actional management. Norwood, NJ: Ablex.
Tannen. Deborah. (1984; 2005). Conversational Style: Analyzing Talk Among Friends. New Edition. Oxford University press.
宇佐美まゆみ監修 (2022). BTSJ 日本語自然会話コーパス（トランスクリプト・音声）2022 年３月 NCRB 連動版．国立国語研究所，機関拠点型基幹研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」
赵玉荣 (2015). 日常自发性会话中叙事活动的三维分析．中国社会科学出版社